



[トップ](#) [暮らしの情報](#) [文化・スポーツ](#) [生涯学習・社会教育](#)

ひので映画大使最新版

[2019年10月28日]

第112回映画大使「真実」

- ・ 期日 令和元年10月18日(金曜日) ※公開2週目
- ・ 場所 イオンシネマ日の出

作品紹介

『万引き家族』で第71回カンヌ国際映画祭のパルムドールを受賞した是枝裕和監督が、全編フランスで撮影した自身初の国際共同製作の家族ドラマ。

出演者は、女優として優れていることを何よりも優先するファビエンヌ役を、フランスを代表する女優で『シェルブールの雨傘』など多くに出演しているカトリーヌ・ドヌーヴが演じ、娘のリュミール役は、『イングリッシュ・ペイシェント』のジュリエット・ピノシュが担当した。その他、リュミールの夫ハンク役を『6才のボクが、大人になるまで。』のイーサン・ホークが、ファビエンヌの共演女優アンナ役を『ピーターパン』のリュディヴィーヌ・サニエが務めるなど実力派キャストが名を連ねている。

また、本作は、2019年8月から9月に開催された「第76回ベネチア国際映画祭」のコンペティション部門に出品され、日本人監督の作品として初めて、オープニング作品として上映されている。

フランスの国民的大女優ファビエンヌが、『真実』という名の自伝本を出版することになり、その出版を祝うために海外で脚本家として活躍している娘の家族が集まった。家族を中心に出版された自伝本をめくりわだかまりを感じるなか、本の中には綴られていなかった、多くの「真実」があらわになっていく様を、明るく軽やかながらも人物に迫るタッチで描き出す。

日本語吹替え版の声の出演は、宮本信子や宮崎あおい、『万引き家族』にも出演の佐々木みゆなどが担当している。



(C)2019 3B-分福-MI MOVIES-
FRANCE 3 CINEMA

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

映画大使の「第一声！」

- ★ **とっても良かったです！**
- ★ **絵画的な作品だなと思いましたね！**
- ★ **心の動きが画面全体から伝わってくる作品でしたね！**
- ★ **カトリーヌ・ドヌーヴさんが凄く綺麗でしたね！**
- ★ **あっという間で、もうちょっと観たいと思うくらい素晴らしいかったですね！**
- ★ **面白かったです！**



今回参加された、映画大使の皆さんです！

映画大使の「映画のツボ！」

Aさん

とっても良かったです。

始まりは日本映画の始まり方のように思えましたね。

少しずつ、少しずつ微妙に母親や娘の心情があらわになってくるという作品でして、最後の孫のセリフを聞いた時には一冊の本を読み終えたような感じを受けた作品でした。

面白かったです。

Bさん

セリフが少なかったのですが、少なくともわかりやすく表現していて観やすい作品でした。そして、セリフは少なくとも心に訴えてくるような作りになっていて、それぞれの心の動きが画面全体から伝わってくる作品でもありましたね。

映像も綺麗でしたし、日本人にもわかりやすい作品であったと思います。

Cさん

セリフを淡々と話しているところが良かったですね。

Dさん

私がこの作品で印象に残ったところは、光の使い方です。最初のシーンでは、風がそよそよとふいていて、自然を感じましたが、なんとなく映像が暗いなと思い、題名が『真実』だったので、心に突き刺さるような事が起こるのかなと思ってしまいましたね。物語が進んでいき、登場人物の心情が明らかになっていきますと、使われている光もふわふわと綺麗になって、最後は明るくなっていきました。その状況は登場人物の心情を表しているのかなと思いましたね。

Eさん

カトリーヌ・ドヌーヴさんがやはり一番貫禄があり、今でも綺麗でしたね。ドヌーヴさんはセリフも淡々としていましたが、だんだんと娘とのやり取りで、何らかの変化を感じ取る演技をされており、最後の方の娘とのやり取りのシーンの姿が、特に輝いており綺麗でした。本当にいつまでも、歳をとっても、とにかく綺麗でしたね。セリフを言わなくてもそこにいっただけでも表現しているような、言葉が聞こえるような感じがしました。

凄く良かったです。

Fさん

この作品を観まして、強く印象を受けましたのは、母親と娘の関係でした。母親と娘の関係は、父親と息子の関係と全く違うなという事です。男性からしますと、母親と娘の関係は絆が深いなという印象になります。父親と息子の関係は割とドライなので、成人してしまいますとあまり絆は深くない方が多いと思いますね。結婚してしまうと、男性は家族との絆が深くなり、父親との絆はうすくなっていくように思えます。女性は結婚しても母親との絆は深いな、とこの作品でも感じましたね。

「真実」と「事実」の話が出てきて、母親と娘でやり取りをしていましたが、それぞれ、ウソや勘違いをしている事がありましたね。実際、事実は1つしかありませんよね。母親の立場、娘の立場で事実を解釈すると「真実」は変わりますよね。それを、協調していましたね。「真実」というのは、立場により変わるので、たくさんありますが、その事を印象深く描かれていたように思えます。

Gさん

お母さんの方が娘さんよりも綺麗でしたね。

この作品を観ていて、とっても「終わらないでほしいな」と思っていました。

ただ、この作品を観ていて、今、話しをしている事が本当の事なのか、どれが事実なのかと、常に思っていました。その判断が凄く難しかったですね。

NHKの朝ドラの「なつぞら」でアニメの声優が出てきましたが、この作品の吹替えの声優はすごく上手だったなと思いました。本当にセリフと口がぴったりだなと感じましたね。そんな事もありまして、心地よく観る事ができましたね。

あっという間でした。もうちょっと観たいと思うくらい素晴らしかったですね。

Hさん

この作品は、『万引き家族』の是枝監督の作品ですので、日本映画にして良いのか、フランス映画になるのかよくわかりませんでした。私はフランス映画が苦手です、構えて観ていたのですが、母親や執事の方など人間関係が複雑で「この人は・・・？」と思いつつ観ていたら、それに興味がわきまして、面白いなと思いつつ観る事ができましたね。

話の内容は、どこが「真実」なのか、それが本物なのか、偽りなのかを深く考えさせられました。

面白かったです。

Iさん

カトリーヌ・ドヌーヴさんと言いますと、私たちの青春時代の女優です。『シェルブールの雨傘』の頃は凄く可憐でどのように年を取られたのかなと思つていたら、今でも綺麗ですよ。70歳過ぎてあ的美貌を保っているのは凄いです。

『真実』のストーリーで、フランス人の俳優を使ってどのように演出をするのかな、と思つていましたね。

カトリーヌ・ドヌーヴさん自身も恋多い方ですが、この作品の中でも恋多き人を演じていましたよね。

娘は、最初母親の本当の気持ちに気が付いていなかったですが、最後には、本当の気持ちが変わりましたよね。

監督は、カトリーヌ・ドヌーヴさんを美しく描きたかったのかなと思つていました。

絵画的な作品だなと思つていましたね。

作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・カトリーヌ・ドヌーヴさんが常に中心でしたね！
- ・カトリーヌ・ドヌーヴさんにとってこの作品は凄く嬉しい作品だと思いますね！
- ・是枝監督は、カトリーヌ・ドヌーヴさんのファンなのだと思います！
- ・カトリーヌ・ドヌーヴさんは、この作品の中で、自宅にいる時の姿と女優の姿の役の差を見事に演じていましたね！
- ・監督は、フランスの方にどのように支持をしたのかなと思つていました！
- ・今回は吹替え版を観ましたが、字幕版も観てみたいです！
- ・是枝監督は、自分の作りたい形にするために、こだわって作られたと聞いています。
- ・この作品を日本人の配役で作ったらどうなったのか気になりました！

まとめ

この作品は、カンヌ国際映画祭の最高賞を受賞した『万引き家族』の是枝監督の初の国際共同製作作品という事で、映画大使の中で注目されていた方が多かった作品でした。

是枝監督と言いますと、家族の形を長年においていろいろな角度から描いている監督だけに今回はどのような作品になるのか気になりましたが、フランスという新たな場所での製作にも関わらず、自分の意思を貫かれて作られた作品である事を強く感じました。映像は、アップを多く使っており、人物に迫る一方、伏線も多くあり、複数回観る事によりいろいろな発見がある作品でもあると思います。セリフが少なく、表情やしぐさなどで、その場の想いを表現する演出も見事としか言いようがありませんでした。

今回は、吹替え版を鑑賞しましたが、吹替えがまったく違和感なく自然に観る事ができ、吹替えの技術の高さを感じました。

映画大使の方からも多く意見がだされ、話し合いは盛り上がりましたが、字幕版も観てみたいと言われた方が多い状況でした。あつという間で、凄く短く感じた方も多かった状況でした。

是枝監督ファンはもちろんですが、そうでない方にも是枝監督が新たに描く家族の物語をご覧いただきたいと思つています。

映画は是非、劇場の大スクリーンでご覧ください！

映画大使では、年代も性別も違う方達が、それぞれ意見を出し合いひとつの映画について話し合うという、日ごろできない経験をすることが出来ます。映画を観て自分がこう思っただけでなく、年齢や経験などの違う人の目線で観たことを聞くことにより、違った発見があるので、ひとつの映画が何倍にも広がって行きます。

今後も「ひので映画大使」にご期待ください！！

関連ページ

- ・ [これまでのひので映画大使](#)
- ・ [ひので映画大使のトップに戻る](#)

ご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった どちらともいえない 見つけにくかった

送信

お問い合わせ

東京都 日の出町 文化スポーツ課 社会教育係
電話: 042-597-0511(内線541) ファクス: 042-597-6698

ひので映画大使最新版への別ルート

[トップ](#) [新着情報](#)

Copyright (C) Hinode Town All Rights Reserved.